

京都市以外の教員志望の方も大歓迎！

第
21
期

京都教師塾

入塾者募集ガイド

京都で先生になろう！



令和8年
10月10日
開講



京都教師塾は、塾生同士が高め合い、
.....
教師になるための土台を築く塾です。
.....
歴史と文化のまち、京都でチャレンジ！



京都教師塾
紹介動画▼



京都市教育委員会

Message 夢を実現した第19期生からのメッセージ

京都教師塾での 学びと決意

京都市立洛央小学校
いせき もえぎ
教諭 井関 萌黄



私は昔から子どもが好きで、漠然と「将来は子どもに関わる仕事がいい」と思っていました。中学校の職場体験で小学校を訪れたことがきっかけとなり、小学校教諭を志すようになりました。

京都教師塾には、大学で同じく小学校教諭を目指す仲間に出会って入塾しました。

入塾後、様々な講義を受ける中で、教員という仕事についてより深く考えるようになり、「絶対に小学校教諭になりたい」という思いが強くなりました。京都教師塾では、講義後に少人数のグループで意見を交流する分散会があります。講義を受けるだけでなく、自分の考えを言葉にして表現することに最初は苦手意識がありましたが、回数を重ねる中で次第に慣れ、採用試験の面接ではこの経験を生かして自分の考えをしっかりと伝えることができました。

現在は担任として、悩むことも多くありますが、京都教師塾で学んだことを糧に、日々試行錯誤を重ねながら努力しています。先生という仕事は子どもと共に学びながら成長できる素晴らしい仕事です。皆さんもぜひ、自分の夢を叶えるため頑張ってください！

京都教師塾での 学びと 目標の実現

京都市立二条中学校
あいばら かずと
教諭 相原 一翔



私は中学生の頃から教師になりたいと考えていましたが、大学生になって学生ボランティアや部活動指導員、総合育成支援員などの活動をする中で、本気で京都市で教師になりたいと感じるようになりました。しかし、その時の私は本当に教師になれるのかという不安を抱えていました。そんな時に、大学の教員養成センターの先生から京都教師塾への入塾を勧められました。

京都教師塾では、教師に必要な資質・指導力を学ぶ教育学講座の他にも、フィールドワークや授業実践講座など様々なカリキュラムが用意されています。中でも特に印象に残っているのが、学校実地研修です。学校実地研修では実際に学校に行かせていただき、教師がどのような思いで生徒に関わっているのか等を教育実習以上に詳しく学ぶことができ、教師として活動する基礎になりました。

今は担任として生徒たちと関わる中で、授業づくりや学級経営などで悩むことがありますが、京都教師塾で得た学びに救われる場面も多くあります。京都教師塾でしか得られない学びと経験が、あなたの教師人生を支える力になります。皆さんの教師人生が豊かになることを願っています。

募集の概要 ※詳細については別紙の募集要項を参照してください。

入塾資格	次の①及び②の要件を満たす方 ①昭和43年4月2日以降生まれで、小学校・中学校・高等学校・総合支援学校の教員（養護教諭、栄養教諭を含む）を目指す学生や社会人 ②教員免許状の既取得者または令和11年3月までに取得見込みの方
提出書類	①入塾願書（写真貼付） ②返信用封筒（角2号24×33.2cm）に180円切手を貼付し、自宅の郵便番号・住所・氏名を明記（連絡先複数の場合は、希望する住所）
提出方法	封筒に①入塾願書、②結果通知用返信封筒を同封し、封筒表面に「教師塾願書在中」と朱書きの上、教員養成支援室に郵送してください。※郵送のみの受付
受付期間	令和8年 7月1日(水) ～令和8年 9月1日(火) 〈期間内の消印があるものに限り〉 ※ただし、令和9年度京都市立学校教員採用選考試験(第2次)の受験者は、特例として令和8年9月28日(月)まで受け付けます。

申込方法	専用フォームから申込み (1)募集要項を確認後、専用フォームから申込み ①氏名・ふりがな ②連絡先住所 ③電話番号 ④教員免許状の取得（見込み）年月等 (2)入塾願書を受付期間内に郵送すること
選考方法	書類審査を行い、入塾者を決定します。
受講料	12,000円（保険料込み）※免除制度あり
主な研修会場	京都市総合教育センター（京都市下京区河原町通仏光寺西入） 

■郵送先

京都市教育委員会 京都市総合教育センター
教員養成支援室
〒600-8023 京都市下京区河原町通仏光寺西入
TEL：075-342-3883 FAX：075-342-3886

■Eメール

kyoinyosei@edu.city.kyoto.jp

京都教師塾

検索

京都教師塾について詳しく紹介しているガイダンス動画です。ぜひご覧ください。



▲WEBサイト



令和8年7月1日発行

カリキュラム

講座名	回	実施日時	プログラム	講師・報告者等	内容	講座の流れ	備考(補講日時 他)
入塾式		10月10日(土) 12:20～13:10	入塾式	式辞 佐藤 卓也(京都教師塾塾長) 稲田 新吾(京都市教育長)	式辞 入塾宣言 オリエンテーション		10月16日(金) 17:30～18:20
京都市教育学講座	第1回	10月10日(土) 13:20～16:30	京都市教育学講座①	荒瀬 克己 (教育委員会事務局特別顧問)	【講義】 これからの学校教育と教師の学びの姿 ～京都教師塾開講にあたって～	講義 グループディスカッション	10月16日(金) 18:35～20:00
	第2回	10月24日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座②	東良 雅人 (総合教育センター指導室長)	【講義】 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ～一人一人の子どもを主語にするために～	講義 グループディスカッション	10月30日(金) 18:20～19:40
	第3回	11月7日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座③	若手教員	【パネルディスカッション】 教師の喜びと厳しさ	パネルディスカッション グループディスカッション	11月13日(金) 18:20～19:40
	第4回	11月21日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座④ (中学校専門講座)	太田 勝・中村 季弘 (教員養成支援室専門主事) 野々口 美咲 (総合教育センター指導主事)	【パネルディスカッション】 中学校における教師の実践 ～生徒理解を深めるために～	パネルディスカッション グループディスカッション	11月27日(金) 18:20～19:40
		11月21日(土) 13:20～16:20	京都市教育学講座④ (小学校専門講座)	藤田 路乃・森川 寿代 (教員養成支援室専門主事) 形木原 聡 (総合教育センター指導主事)	【パネルディスカッション】 小学校における教師の実践 ～児童理解を深めるために～	パネルディスカッション グループディスカッション	11月27日(金) 18:20～19:40
	第5回	12月5日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座⑤ (小学校専門講座)	保本 貴之 (総合教育センター指導主事)	【指導主事による模擬授業】 小学校における教科学習くめあて・中心発問の検討> ～特別の教科 道徳を通して～	指導主事による模擬授業 グループディスカッション	12月11日(金) 18:20～19:40
		12月5日(土) 13:20～16:20	京都市教育学講座⑤ (中学校専門講座)	野田 友美 (総合教育センター指導主事)	【指導主事による模擬授業】 中学校における教科学習 ～特別の教科 道徳「道徳的価値に触れるための授業の工夫」～	指導主事による模擬授業 グループディスカッション	12月11日(金) 18:20～19:40
	第6回	12月19日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座⑥	佐藤 卓也(京都教師塾塾長) 太田 勝・中村 季弘 藤田 路乃・森川 寿代 (教員養成支援室専門主事)	【講義・ロールプレイング】 教師として求められる資質能力とは ～自己理解を深め、課題と目標を明らかにする～	講義・ロールプレイング グループディスカッション	12月21日(月) 18:20～19:40
		1月9日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座⑦ (高等学校専門講座)	勝又 伸吾 (学校指導課指導主事)	【講義】 高等学校における教師の実践	講義 グループディスカッション	1月15日(金) 18:20～19:40
	第7回	1月9日(土) 9:20～12:20	京都市教育学講座⑦ (養護教諭専門講座)	北島 美喜 (体育健康教育室指導主事)	【講義】 求められる養護教諭像	講義 グループディスカッション	
		1月9日(土) 13:20～16:20	京都市教育学講座⑦ (総合支援学校専門講座)	大藪 晶 (総合育成支援課指導主事)	【講義】 総合支援学校における教師の実践	講義 グループディスカッション	1月15日(金) 18:20～19:40
		1月9日(土) 13:20～16:20	京都市教育学講座⑦ (栄養教諭専門講座)	山本 朱音 (体育健康教育室指導主事)	【講義】 求められる栄養教諭像	講義 グループディスカッション	
	第8回	1月16日(土) 13:00～16:00	京都市教育学講座⑧	保護者	【パネルディスカッション】 先生を目指す塾生に期待すること ～保護者の立場から～	パネルディスカッション グループディスカッション	1月22日(金) 18:20～19:40
授業実践講座	第1回	2月6日(土) 9:30～16:30	授業実践講座① [学習指導案作成]	総合教育センター指導主事 (各校職種の教科・領域)	【講義】 各校職種の教科・領域における「授業づくりのポイント」 【学習指導案作成】 塾生一人一人による学習指導案の作成	オリエンテーション 講義 学習指導案作成	※午前または午後の いずれかの日程になります。
	第2回	2月20日(土) 9:30～16:30	授業実践講座② [模擬授業]	総合教育センター指導主事 (各校職種の教科・領域)	【模擬授業】 塾生一人一人による模擬授業 【指導助言】 指導主事からの専門的な指導助言	模擬授業 指導助言	※2月20日の午前または午後、2月27日の午前または午後のうち、いずれかの日程になります。
		2月27日(土) 9:30～16:30					
卒塾式		3月20日(土) 9:20～12:30	卒塾式	講義 佐藤 卓也(京都教師塾塾長) 式辞 稲田 新吾(京都市教育長)	【講義】 市民・地域とともに進める京都の教育改革 ～信頼される教員～ 【卒塾式】 式辞・卒塾の言葉	講義 グループディスカッション	3月26日(金) 18:20～20:00

★第4回・5回・7回の専門講座は、自身の志望校種・職種にかかわらず全員必修です。参加する講座(校種・職種)は、各回選択できます。

京都市教育学講座	選択特別講座	映像配信	カテゴリーⅠ	特別講座①	佐藤 卓也 (京都教師塾塾長)	【講義】 教師の使命とやりがい～京都教師塾が目指すもの～	講 義	10月 配信予定
				特別講座②	島本 由紀 (総合教育センター研究課参与)	【講義】 市民・地域とともに育む京都ならではの教育		
				特別講座③	松村 一也 (総合教育センター副主任指導主事)	【講義】 学校における人権教育をすすめるにあたって		
				特別講座④	中山 聡 (総合育成支援課首席指導主事)	【講義】 京都市における一人一人の 教育的ニーズに応じた支援の実現に向けて		
		映像配信	カテゴリーⅡ	特別講座⑤	谷垣 賢・安江 毅 (体育健康教育室首席指導主事)	【講義】 学校における子どもの健康と安全	講 義	11月 配信予定
				特別講座⑥	津高 修一・矢本 雄生 (総合教育センター指導主事)	【講義】 情報モラル教育の充実に向けて ～一人一人の子どもを守るためにできること～		
				特別講座⑦	寺田 沙織 (教員養成支援室指導主事)	【講義】 わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業をめざして ～授業づくりのポイント～		
				特別講座⑧	関本 将人 (生徒指導課子ども支援専門官・指導主事)	【講義】 つながりのある集団づくり ～いじめ・不登校の未然防止の取組～		

※その他のカリキュラムとして、「学校実地研修」や「フィールドワーク」があります。

2 授業実践講座

必修2回

授業づくりの基礎を学べる、模擬授業の演習



❖ 学習指導案の作成と模擬授業演習

教科等のエキスパートである指導主事から直接、指導案作成や授業についてアドバイスをもらえる大変貴重な機会です。自分が希望する校種(教科)・職種を選べます。

❖ カリキュラム開発支援センターを利用

2万点を超える学習指導案や豊富な教育実践資料の閲覧、教育図書の貸出等ができます。授業づくりだけでなく学級経営、生徒指導などの参考にもできます。

都教師塾 の柱

4つの柱を
求められて
導力を育成



指導主事からの助言や、他の塾生からのコメントで改善点が見えたり、新しい視点が生まれ、今後の学びにつなげていきたいと感じた。

他の塾生の模擬授業を見ることで、自分では思いつかないような展開や発想を得ることができ、自身の課題がとても浮き彫りになった。



4 フィールドワーク

2回以上選択 (10月～2月の期間中)

京都市ならではの教育実践を体験



伝統文化体験(華道)

❖ 教育施設での学び

京都まなびの街生き方探究館、学校歴史博物館、青少年科学センターなど、実際に子どもたちが学ぶ京都市教育委員会の教育施設で見学や体験ができます。

❖ 学校現場での学び

学校訪問をして、先輩の授業を参観し、学級経営や授業づくりについて学びます。また、各校が実施する研究発表会など現職の教員向けの研修会にも参加できます。



「学校歴史博物館」での講義では、京都市の学校の歴史について触れることができ、京都市教育の根本について学ぶことができた。

「先輩の授業に学ぼう」では、授業の目的を踏まえて授業見学ができ、授業展開や生徒の反応なども観察することができた。また、授業後に先輩へ質問ができることも、学びを深めるきっかけになった。



「青少年科学センター」では授業をされている先生の発問の工夫を学び、発問によって子どもたちがより主体的に授業に参加しやすくなることを実感した。

1

京都市教育学講座

共通必修5回

校種・職種別必修3回

特別講座2回・選択制

京都市の教育実践に関する講義やグループディスカッションで教師力アップ



❖ 京都市の教育実践に関する講座

全体会では、講義やパネルディスカッション、ロールプレイングなど様々な形式で実施し、教師に求められる資質や指導力を育成します。先輩教員の教職への熱い思いや保護者の声も聴けます。

❖ 学びを深めるグループディスカッション

分散会ではグループアドバイザーの助言を受けながら仲間と交流します。学びが広がり深まることで目指す教師像が具体化します。

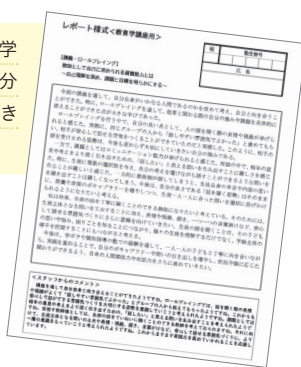
❖ 特別講座(映像配信による受講)

喫緊の教育課題について学びます。



レポートを書くことで、学んで終わりではなく、自分が考えたことを整理できたのが良かった。

現場で働かれている先生の経験談をお聞きできるのは教師塾ならではの学びであり、学校現場のリアルを知ることができ、非常に刺激を受けた。



短時間で自分の考えをまとめて発表する経験は、思考を整理し、簡潔に伝える力を養う貴重な機会になった。

4

「京都教師塾」では、通じて、教師としている資質や実践的指します。

3

京都市立学校実地研修

5日間

(11月～2月の期間中)

「先生の1日」を実際の学校現場で体験



❖ 子どもから学ぶ

朝の挨拶から、授業や休み時間、放課後の部活動など、様々な教育活動に参加します。学年や教科にかかわらず、多くの子どもたちと触れ合い、一人一人の声や表情、行動などから子ども理解を深めます。

❖ 教職員から学ぶ

子どもへの適切な支援方法をはじめ、授業づくりや学級経営、教職員間や家庭との連携の大切さなどを学びます。疑問に思うことがあれば、担当の先生以外にも様々な立場の教職員に質問できます。校種や日程は希望に沿って調整できます。

様々な学年、クラスの授業を見ることができ、低学年からの学びの積み重ねが大切であるということを実感できて、とても学びになった。



授業を見ることはもちろん、教職員側の考えや連携をたくさん見ることができた。自分にとって新しい発見が多かった。



一人一人の子どもを徹底的に大切にする 京都市教育の伝統を踏まえて



京都教師塾では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という京都市の教育理念のもと、5つの観点<体感・自覚・理解・探究・哲学>を大切に、京都市の優れた教育実践や様々な教育課題への対応等を学ぶことができます。塾生同士で切磋琢磨し、子どもたちや社会から信頼され、急速な社会変化にも柔軟な発想で対応できる「学び続ける教師」を目指してください。京都教師塾は、教師という目標に向かって全力で取り組む皆さんを全面的に支援します。

京都教師塾 塾長

佐藤 卓也 (元京都市総合教育センター所長・元京都市立中学校長)

あなたの「やりたい」を応援します！



人前で話す力や授業力を付けたい

講義後にグループディスカッションを行うことで「聴く力」や「考えを整理して話す力」が付きます。事後にレポート作成を行うことで「書く力」が付きます。また、学習指導案の作成やポイントも教育委員会の指導主事から直接学べます。



実践的なことを学びたい

現職教員や保護者の方が講師となる講座もあり、様々な視点から京都市の具体的な教育実践を学ぶことができます。また、フィールドワークや学校実地研修では、先輩教員の実際の授業を見学したり、児童・生徒と直接関わることができます。



忙しくても学びたい

平日夜間に「補講」を開催しています。また、頻繁に通塾することが難しい方は、オンラインで講座を視聴して学ぶことも可能です。フィールドワークや学校実地研修は、自分の都合に合わせて調整できます。



悩みを相談したい

クラスごとに教職経験豊富なグループアドバイザーやクラス担当スタッフがいます。受講方法の相談や教職に関することなど、気軽に相談することができます。



採用試験に役立てたい

京都教師塾のカリキュラムは、指導主事等の講義を踏まえたグループディスカッション、学校実地研修、学習指導案作成、模擬授業など、きわめて実践的な内容で実施しています。これまでに、約6,100名が学び、全国で活躍しています(第20期入塾者 約200名)。塾生同士が高め合い、教師になるための土台を築く塾ですので、京都市以外の教員志望の方も大歓迎です。

京都市教員採用選考試験 (令和7年度実施分)

第19期生の受験合格率

約61%

(市全体は約36%)

京都市立学校の全教員のうち、約4分の1
(約1,600名)が卒塾生です(令和8年4月現在)

令和9年度(令和8年度実施)の京都市教員採用選考試験においては、一定の要件を満たし、京都教師塾を修了した方に対して、第一次試験で加点を行う、**加点制度**が設けられています。